

## IBM 量子コンピュータ見学

日 時：令和7年10月8日（水）13時から15時

場 所：日本IBM新川崎事業所（神奈川県川崎市幸区新川崎）

参加者：上田千曲高等学校メカニカル工学科1年生39名

林様の進行により、見学会＆ラウンドテーブル（IBMで働く社員と話してみよう！）がスタートしました！



初めに羽川様から Welcome メッセージを頂きました。

羽川様には5月に行われたスタートアップ講話でご講演いただいており、その際の話にも触れながら、これから技術や自分のパーソンについて等お話しいただきました。



続いて渡邊様から、半導体開発についてや、コンピュータの性能向上に取り組むIBMの技術等について、お話しいただきました。

その後、グループに分かれて、ラウンドテーブルが行われました。

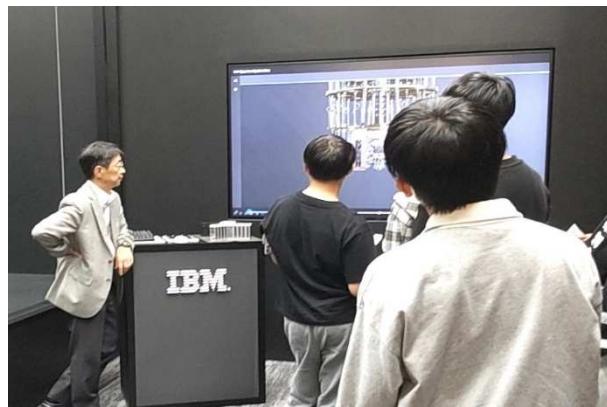
IBM 社員の方の人生転機グラフをもとにお話を聞き、また普段気になっていることや、今やるべきこと等の助言を頂きました。



その後建物を移動し、いよいよ量子コンピュータが稼働する部屋に入室です。

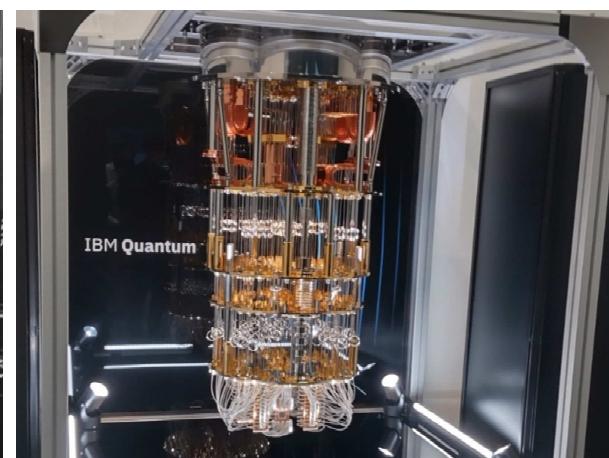
初めに、永田様から、量子コンピュータの実物の目の前に、動作や冷却の原理など、専門的なご説明をお聞きした後…

ちょうど10月に新しくなったばかりの量子コンピュータを見学しました。



この筒のようなものが量子コンピュータです！

シャンデリアとも呼ばれる、内部の様子も見させていただきました。



#### 学生の感想等（抜粋）

- ・写真で見た量子コンピューターとは違い、実際の量子コンピューターは想像の倍大きかった。
- ・色は緑っぽい黒。ずっとガシャンガシャン音がなっていた。
- ・本物の量子コンピュータを見て、最初は銀色の鉄でおおわれていて意外に質素だなと思ったけれど、中身の構造模型を見させてもらって、すごい複雑で第一印象は「シャンデリア」だなと思いました。
- ・映像で観た時よりも本物を観て、「美しい」や「カッコイイ」の感情が出てきた。
- ・量子という身近な存在ではない物を見学させていただいて、量子という想像ができない物をわかりやすい説明で教えていただいて、量子という物をしっかりと理解することができました。
- ・コンピューターの核は思った以上に小さくその周りに力をすごく入れていることがわかった。
- ・大阪大学などの量子コンピューターはもっと間近で見れると知り、今回はガラス越しで見て、もっと近くで見たいと思ったので興味がわいた。

- ・量子コンピューターを見るという貴重な体験がでてよかったです。この大きな機械がいざれ実用化されるとと思うととてもワクワクしました。
- ・人生で1度きりの機会がでてよかったです。思ったよりも大きくて、人間の脳のようにきめ細やかで、精密で、とても敏感なものだと分かった。
- ・量子コンピューターの大きさや、どのようなことをするのか気になっていたので、普段見れないものを見れたので貴重な見学ができた。
- ・色々な人生を歩んでいたりして、挫折しそうな事が多いかもしれないけど、それを耐え抜いたときには、必ず良い事が起きるんだと感心しました。
- ・人生グラフを見せてもらって悪い事があってもその分、いいこともあると知ったからよかったです。未来について考えるきっかけをもらえたと思う。
- ・どんな人も苦労した上でこの場所にいる。これを知り苦労しても諦めなければ結果が出せると学びました。
- ・会社の人の人生転機を聞いて、自分のこれから的人生を考えるヒントになった。
- ・人生の先輩方に色々と教えていただきてこれからの人生の教訓になりました。
- ・多様な経験が現在の仕事に繋がっていて、失敗や回り道も成長の機会になり得る。